

ポリシー：チャリティーケア

オーバーレイク・ホスピタル・メディカル・センター (Overlake Hospital Medical Center)

チャリティーケア経済援助ポリシー

発行日 1/1/2018

意義

オーバーレイク・ホスピタル・メディカル・センター (OHMC) およびオーバーレイク・メディカル・クリニックス (OMC) は、患者の支払い能力にかかわらず医学的に必要な医療サービスを全ての人々に提供することに取り組んでいる。オペレーションの確実性を保護すると共にその約束を果たすため、Washington Administrative Code (WAC、ワシントン行政コード) 第 246~453 章の要件と合致するチャリティーケア経済援助の提供に関する基準は、以下の通り制定された。

公共への伝達

OHMC および OMC によるチャリティーケア経済援助ポリシーは、以下の項目を通じて公表される：

- A. OHMC および OMC は、患者へのチャリティーケア経済援助提供の勧めに関する告知を、入院受付、救命救急科、および OMC 緊急ケアセンターを含む病院とクリニックの主な場所に表示する。ポリシーのコピーをオーバーレイク・ホスピタルのウェブサイト、Overlakehospital.org にも掲載する。
- B. OHMC および OMC は、ポリシーを提示した書面通知をチラシという形で患者の治療サービスと同時に提供する。その際にこの書面通知内容を、口頭でも説明する。緊急時など、何らかの理由でチャリティーケア経済援助の存在について、患者が治療を受ける前に告知出来なかった場合は、治療後に速やかに行う。
- C. 書面による情報と口頭による説明共に、OHMC および OMC のプライマリ・サービス・エリアにおいて 1000 人以上で話されるあらゆる言語に対応することとし、非英語圏や英語の理解に限界がある方、もしくは英語での書面や口頭での説明が理解できない患者への訳の提供も行う。
- D. OHMC および OMC は、最前線で働くスタッフがチャリティーケア経済援助に関する質問に効率的に答えられる、もしくはその質問を適切な部門にしかるべきタイミングで誘導できるように、トレーニングを行う。
- E. 書面による OHMC および OMC のチャリティーケア経済援助ポリシーの情報は、メール、電話、もしくは直接個人により依頼を行った全ての人々に提供される。

適格性基準

チャリティーケア経済援助は、患者が使用可能なグループ、もしくは個人健康保険、労働災害補償、メディケア (Medicare)、メディケイド (Medicaid)、もしくは医療支援プログラム、他の州、連邦、軍事プログラム、またはその他、患者以外の方、もしくは団体が医療サービスの費用を支払う法的責任を負う可能性のあるような状況、等々を含むがそれに限定しない全ての財源に次ぐ副次的なものである。保険等の健康医療費を賄う財源を有していない患者 (medically indigent patient) は、人種、国籍、在留資格の有無にかかわらずチャリティーケア経済援助を受けることができる。

適切な主要の財源がない、もしくは他の財源にも支払い後に残高がないような場合、以下の OHMC および OMC のポリシー基準に基づいて患者はチャリティーケア経済援助の適用が考慮される：

- A. WAC 246-453-040、WAC 246-453-050、および IRS 501R の要件を満たすため、OHMC および OMC は以下の規範を採用している：
 1. OHMC および OMC の料金全額は、総家族所得が現在の連邦困窮レベルの 200% 以下の場合、患者へのチャリティーケア経済援助として判定される。
 2. 現在の連邦困窮レベルの 201% から 400% に当てはまる所得の患者に対して控除される金額を割り出すために、以下のスライド料金表を使用するものとする。家族とは、一緒に暮らし、誕生、婚姻、または養子縁組によって関係する 2 人以上のグループを定義とする。このような関係にある者はすべて家族の一員とみなされる。
 3. 個々の金額は、すべての割引、控除、および払い戻し (保険を有する個人に一般的に請求される金額を超えてはならない「AGB」保険および病院施設の経済援助ポリシーからの割引、控除、および払い戻し等を含む) が適用された後に個人が支払う自己負担金額とする。OHMC および OMC は AGB を判定するため、メディケアの料金フリーサービス請求と個人保険によって支払われる病院請求とを合わ、これに基づいた 12 ヶ月振り返り方式の使用を選択する。
 4. セルフペイ・フォローアップポリシー (Self Pay Follow Up Policy) に従って、スライド料金表を適用した後に残る責任当事者の債務責任は妥当な期間にわたって月分割で支払われるものとする。責任当事者のアカウントは、支払いが滞ったり、ある一定期間口座に動きがない場合、そしてさらに患者との十分な連絡が取れなくなる限り、債権回収代行会社に引き渡してはならない。
- 注記：所得とは、賃金および給料、福祉給付、社会保障給付、ストライキ手当、失業または障がい手当、児童扶助手当、元配偶者に対する扶養手当、および個人に支払われた事業活動や投資活動等から得た税引前の総収入と定義する。

チャリティー割引率

連邦困窮レベル (FPL) のパーセンテージ	患者の負担額 割引のパーセンテージ (%)					
	\$0～ \$2,500	\$2,501～ \$5,000	\$5,001～ \$10,000	\$10,001～ \$25,000	\$25,001～ \$50,000	\$50,001 以上
0～200%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
201～300%	85%	90%	95%	96%	97%	注記 A
301～400%	65%	70%	75%	80%	85%	注記 B

注記 A: 98%の援助が最初の\$100,000 までの料金に適用される。100%のチャリティーケア経済援助が、全ての\$100,000 を超える料金に適用される。

注記 B: 90%の援助が最初の\$100,000 までの料金に適用される。100%のチャリティーケア経済援助が、全ての\$100,000 を超える料金に適用される。

- B. 所得水準を正確に評価するのに十分な情報があるアカウントについては、その患者が連邦困窮リミットの 200%を下回っているか否かを OHMC および OMC が判定する。該当する場合、DSHS (Department of Social and Health Services、福祉保健省)の適用範囲の可能性を調べたアカウントを保有し、DSHS の要件に該当しないアカウントに対し、経済援助への支払残高を推定控除する。
- C. OHMC および OMC では、大災難時の援助 (Catastrophic Charity) を勧める場合がある。つまり、上記に記載されているチャリティーケア経済援助の割引率を超える厳しい財政難や人的損失を示す状況の場合、連邦困窮レベルの 200%を超える家族所得の患者に対しても、OHMC および OMC がチャリティーケア経済援助として控除するものである。本件に該当する場合、さらなる審査の為に患者は願書を災難状況の詳細と共に提出する必要がある。大災難時の援助 (Catastrophic Charity) の承認とその控除額は、OHMC および OMC に属する価格設定委員会が、既存の OHMC および OMC の財源に対する購入・支出権限の承認に関する方針に従って取り決める。
- D. OHMC および OMC によるチャリティーケア経済援助は、OHMC および OMC による社会貢献として提供されるものであり、ワシントン州非居住者である患者に対しては、救命救急科内で受けた治療行為や、救命救急科から直接入院した結果として行った治療行為に対してのみ、チャリティーケア経済援助の対象となる。加えて、その治療行為が OHMC および OMC 救命救急科担当医師によって救命救急事案であると判断されなければならない。
- E. ワシントン州の居住要件の例外には、難民、亡命者、そして INS の文書を所有して庇護を求める者が含まれる。
- F. 申請を完了している適格認定については、申請承認日から 180 日以内に受けたサービスを対象に有効である。

適格性判定のプロセス

A. 初期判定

1. OHMC および OMC は、チャリティーケア経済援助の適格性判定の為の申請プロセスを踏まなくてはならない。チャリティーケア経済援助の提供依頼は、患者の家族、医師、地域社会・宗教団体、ソーシャル・サービス、金融サービススタッフ、そして患者自身によるものを受け付ける。
2. 患者の登録手続き中、もしくはチャリティーケア経済援助の存在と利用の可能性が患者に知らされた後のいかなる時でも、OHMC および OMC は、口頭もしくは書面で行われたれたチャリティーケア経済援助への申請を基に適格性について初期判定を行う。
3. 最終適格性判定の審理中においては、未補償ケア状態のものが最終判定に達するために OHMC および OMC の尽力に協力している責任当事者に対しては、OHMC および OMC は債権回収努力や支払要求を開始しない。
4. OHMC および OMC が患者に対してチャリティーケア経済援助のポリシーの対象となり得る要因を確認した場合、患者にこの可能性について助言し、そのアカウントをチャリティーケア経済援助として取り扱う為の初期判定を行う。
5. 適用範囲の判定は、サービスが提供された時点での経済的困窮要件による。

B. 最終判定:

1. プリマ・フェイシー控除 (Prima Facie Write-Offs)責任当事者の身分が困窮者であると病院の職員に明らかである場合、さらに、その申請者の収入が明らかに適性範囲内にあることが明確にすることができる場合は、OHMC および OMC はこの初期判定のみでチャリティーケア経済援助を授与することができる。OHMC および OMC によって配偶者および不動産やその他の資産を特定できない死亡した患者にも、この同じ基準が適用される。それらの場合、OHMC および OMC は WAC 246-453-030 (3) に従って、完全な確認や文書化を完了する必要はない。
2. チャリティーケア経済援助用の書類、説明書、および申請書は、チャリティーケア経済援助を要請されたとき、必要性が示されたとき、または財政審査により潜在的な必要性が示されたときに、患者に提供される。患者と OHMC および OMC のどちらが申請を開始したのかに関わらず、申請書内に表記してある所得額確認の為の書類が全ての申請書に添付されている必要がある:

- a. チャリティーケア経済援助への申請は、完成している申請書と以下のいずれかの書類を必要とする:
 1. W-2 源泉徴収区分表
 2. 直近で3つの給与明細
 3. 暦年で最も最近提出された確定申告書
 4. メディケイドあるいは州政府が支援する医療援助の適格性を承認または否認する書類
 5. 失業補償の承認、もしくは否認を示す書類
 6. 雇用主もしくは福祉機関からの陳述書、または
 7. 申請者に生活費を提供している家族からの手紙。
 - b. \$ 15,000 以上の残高については、患者のヘルスケアクレジット報告書に基づいてプリザンティティブ・チャリティー (Presumptive Charity) の可能性について審査される。
3. 申請初期の間は、患者と OHMC および OMC は医療援助行政局とメディケア (Medical Assistance Administration and Medicare) を含む他の可能な資金源を探る。OHMC および OMC は、困窮状態の判定を申請をしている患者に、銀行やその他の融資元の検討を要求しない場合がある。
 4. 通常、それらの請求される書類の適切な時限は、申請日の3ヶ月前とする。ただしそのような書類が申請者の現在の経済状況を正確に反映していない場合は、患者の経済状況が変更された後の期間に限った書類を要求する。
 5. 責任当事者が上記の書類のいずれかを提供できない場合、OHMC および OMC は、困窮者分類の適格性に関する最終的な判定を行う責任者によって執筆・署名された陳述書に依拠するものとする。(WAC 246-453-030 (4))
- C. 患者が入院前に長期にわたる支払い能力が病気や経済的苦難によって大幅に変わる可能性があることで援助サービスの必要性を認識したような場合についても、OHMC および OMC はチャリティーケア経済援助の申請を許可する。経済状態の変化が一時的なものである場合、OHMC および OMC はチャリティーケア経済援助を開始するよりも、支払い延期を選ぶ場合がある。
 - D. 外部医療提供者

Overlake Imaging Associates、Puget Sound Physicians、Kaiser Physicians はオーバーレイク・ホスピタルの未補償ケアの判断 (Uncompensated Care Determination) を受け入れ、課金額に割引率 (Percentage Discount) を適用して患者の残高を調整する。OHMC で治療提供を行っている非正規雇用の附属医師は、チャリティー判定を受け入れることができるが、その義務を負うものではない。

E. 最終判定および異議申し立てのための時間枠

1. 初期の判定でチャリティーケア経済援助の適格性を認められている出願者には、補償されていないケア状態への最終判定を受ける前にチャリティーケア経済援助申請の補足書類を確保提出する時間を最低 30 日、もしくはそれに見合う妥当な必要時間を与えられることとする。
2. OHMC および OMC は、すべての申請書および関連書類を受領してから 14 日以内に、最終判定を申請者に通知しなければならない。
3. 患者・保証人は、通知を受領してから 30 日以内に、収入または家族の規模に関する追加証明書を収益循環ディレクター (Director of Revenue Cycle) に提出することにより、チャリティーケア経済援助の適格性の判定に異議を申し立てることができる。
 - a. 第一レベルの異議申し立ては、35%の家庭所得調整を許可することからなる。
 - b. 第二レベルの異議申し立ては、OHMC 価格設定委員会 (the OHMC Pricing Committee) の裁量で処理される。
 - c. チャリティーケア経済援助への最終判定の状態に至るタイミングは、WAC 246-453-020 (10) に従って、不良債権とは異なる収入からチャリティーケア経済援助の控除を識別することで無関係でなくてはならない。
 - d. 全ての債権回収活動は、異議申し立てへの結果審議中は停止するものとする。

- F. もし患者が医療サービスの一部または全部を支払った後、もしくは支払いが行われた時点でチャリティーケア経済援助の対象であることが判明した場合、患者にはその判定から 30 日以内に支払超過と判定された額が払い戻される。

G. 適切な否認通知:

1. チャリティーケア経済援助への申請が否認された時、患者は以下の項目を記述した否認通知を受け取らなければならない。
 - a. 否認の理由と OHMC および OMC の判定を支持する規程
 - b. 決定日、そして
 - c. 異議申し立てもしくは再審査に関する説明
2. 申請者が求められた情報を提供せず、OHMC および OMC が適格性を判断するのに十分な情報がない場合、否認通知には以下の項目が含まれる:
 - a. 情報を求めた日付を含む、請求したが提供されていない情報の記述
 - b. OHMC および OMC が使用可能な情報に基づいた上でチャリティーケア経済援助の適格性判定を確立出来なかった旨の言明、さらに
 - c. その否認通知の日から 30 日以内に、以前に申請者が求められたが未提出である指定された全ての情報を提供した場合は、その適格性を判定する。
3. プライシング委員会は全ての第二レベルの異議申し立てを審査する。この審査が以前のチャリティーケア経済援助への否認を支持した場合、書面による通知を患者・保証人に送ると共に、州法に従って保健省 (the Department of Health) へ送る。

承認プロセス

一度適格性と金額の判定がなされると、申請書と付随情報は以下に記述された適切な者によって引き続き審査されるものとする。

- 患者ファイナンシャル・サービス・マネージャー、または監督者 \$10,000 未満
- 収益循環ディレクター (Director Revenue Cycle) \$100,000 未満
- 財務副会長 (Vice President Finance)・VFO \$100,000 以上

書類と記録

- A. 機密保持申請に関連するすべての情報は機密保持とする。申請の補足書類のコピーは申請書と共に保管する。
- B. チャリティーの案件に関する書類は、保存方針に従って保持するものとする。